

2024 年度 日本語科目履修説明会資料（東京紀尾井町キャンパス）

東京紀尾井町キャンパスの留学生は、1クォーターに日本語科目 1 科目（N1/N2 レベル合同）受講できます。所属学部によって必修単位数が違います。自分が必要な日本語科目の単位数については、所属学部の事務、または、アドバイザーの先生に相談してください。

【日本語科目の表の見方】

学籍番号（Student number）をよく確認してください。

XA2024-123

* 学部学科や学年によって、履修できる科目とできない科目があります。

BG	経営情報学部 総合経営学科	EG	交換留学生：経営情報学部 総合経営学科
HL	国際人文学部 国際文化学科	EL	交換留学生：国際人文学部 国際文化学科
HK	国際人文学部 国際交流学科	EK	交換留学生：国際人文学部 国際交流学科
FF	福祉総合学部 福祉総合学科	EF	交換留学生：福祉総合学部 福祉総合学科
TW	観光学部 観光学科	EW	交換留学生：観光学部 観光学科
PC	薬学部 医療薬学科	EC	交換留学生：薬学部 医療薬学科
XA	メディア学部 メディア情報学科	EA	交換留学生：メディア学部 メディア情報学科

【注意】

- ・ 授業内容をよく確認して、自分の日本語のレベルに合った授業を履修するようにしてください。
- ・ 詳しい授業内容はウェブでも確認することができます。アドバイザーの先生とよく相談してください。
- ・ 自分の学部の授業については、学生便覧を見てください。
必要な日本語科目の単位数がよく分からない人は、アドバイザーの先生に質問してください。
- ・ 日本語の授業の履修登録の方法は、所属学部から説明をよく聞いてください。
- ・ 週2回の科目は、必ず週2回出席する必要があります。週1回だけ出席しても単位をとることはできません。

1年次に取れる日本語科目（新入生用）

【S1】

授業コード	科目名	履修できる学科	単位	教員	曜日・時限
100410691	日本語 I	BG/XA	2	高木	火 2 限
				柏倉	木 2 限

この授業は、日本での留学生活に必要な日本文化や社会に関する理解を深めながら、日本語のコミュニケーション力をつけることが目的です。授業では、毎回、日常生活や文化やニュースなどをテーマにして、それらに関する生の日本語を読んだり聞いたりしながら、話したり書いたりする練習を行います。コミュニケーションの練習には、それぞれ「Can-do（日本語を使ってできること）」という達成目標があります。この授業のすべての Can-do が達成できれば、日本での留学生活がもっと充実することでしょう。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。

【S2】

100410791	日本語 II	BG/XA	2	高木	火 2 限
				柏倉	木 2 限

この授業は、「日本語 I」の授業に続き、さらに日本文化や社会に関する理解を深めながら、日本語のコミュニケーション力をつけることが目的です。授業では、毎回、観光、買い物などの生活情報、歴史、映画などの現代文化やニュースなどをテーマにして、それらに関する生の日本語を読んだり聞いたりしながら、話したり書いたりする練習を行います。コミュニケーションの練習には、それぞれ「Can-do（日本語を使ってできること）」という達成目標があります。この授業のすべての Can-do が達成できれば、日本での留学生活がもっと充実することでしょう。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。

【F1】

100411091	日本語アカデミック・ライティング	BG/XA	2	高木	火 2 限
				柏倉	木 2 限

この授業は、アカデミックなライティング力を養うことが目的です。日本の大学の一般的な日本語のレポートの書き方を学びながら、テーマについて考え、それをレポートにまとめる練習をします。授業では、まず自分の関心に合わせてテーマを選び、必要な調査を行い、調べたことをもとに考察し、1つのレポートを完成していきます。大学のレポートらしい論理の立て方や資料の集め方、引用の方法も学びます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。

【F2】

100411191	日本語アカデミック・スピーキング	BG/XA	2	高木	火 2 限
				柏倉	木 2 限

この授業では、アカデミックなスピーキング力を養うことが目的です。特に、大学の授業で自分の考えを、スライドを使って口頭発表（プレゼンテーション）する練習を行います。授業では、発表テーマの立て方、考察や結論のまとめ方、スライドと発表原稿の作り方や発表時の話し方まで、口頭発表の準備をしながら練習を重ねていきます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。

2年次以降に取れる日本語科目（2年生～）

【S1】

授業コード	科目名	履修できる学科	単位	教員	曜日・時限
100410805	統合日本語 I	BG/XA	2	柏倉	火1限/木1限

この授業では、内容言語統合型学習（CLIL）の4つのC（内容、言語知識・言語使用、思考、協学）の方法を用います。オーセンティックな教材を用いて、学習者は能動的に授業に参加し、協働学習を通じて、発話力や表現力を養います。内容と言語を学び、それらを自分の言葉でまとめたり、意見を述べたりできるようにします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深め、思考力を養います。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。

【S2】

100410903	統合日本語 II	BG/XA	2	柏倉	火1限/木1限
-----------	----------	-------	---	----	---------

この授業では、「統合日本語 I」に引き続き、内容言語統合型学習（CLIL）の4つのC（内容、言語知識・言語使用、思考、協学）の方法を用いて、学生の思考力や協働で学ぶ力を養います。この授業では、言語知識を学ぶだけでなく、学習者は能動的に参加し、発話力や表現力を養います。日本の社会問題や災害問題などオーセンティックな言語素材を通して読む・聞く・書く・話すの4技能を学び、学んだ言語知識が実際に使えるようにするためにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。

【F1】

100411206	社会と文化の日本語 A	BG/XA	2	柏倉	火1限/木1限
-----------	-------------	-------	---	----	---------

この授業では、主に地域文化・社会を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。内容を通してコミュニケーション力を養い、学習者同士と一緒に学び合いながら、言語力を養います。主に地域の地理や歴史を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。言語知識を実際に使えるように自分の言葉でまとめたり、意見を述べたりします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。

【F2】

100411306	社会と文化の日本語 B	BG/XA	2	柏倉	火1限/木1限
-----------	-------------	-------	---	----	---------

この授業では、主に地域文化・社会を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。内容を通してコミュニケーション力を養い、学習者同士と一緒に学び合いながら、言語力を養います。主に地域の地理や歴史を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。言語知識を実際に使えるように自分の言葉でまとめたり、意見を述べたりします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。